

2024年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2023年10月31日
(証券コード6157)

目次

2024年3月期2Qの業績	P. 3 . . .	第2四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	業績推移
<hr/>		
2024年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 17 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 18 . . .	投資指標
	P. 19 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 20 . . .	I R 情報サイトのご案内

2024年3月期 第2四半期の業績



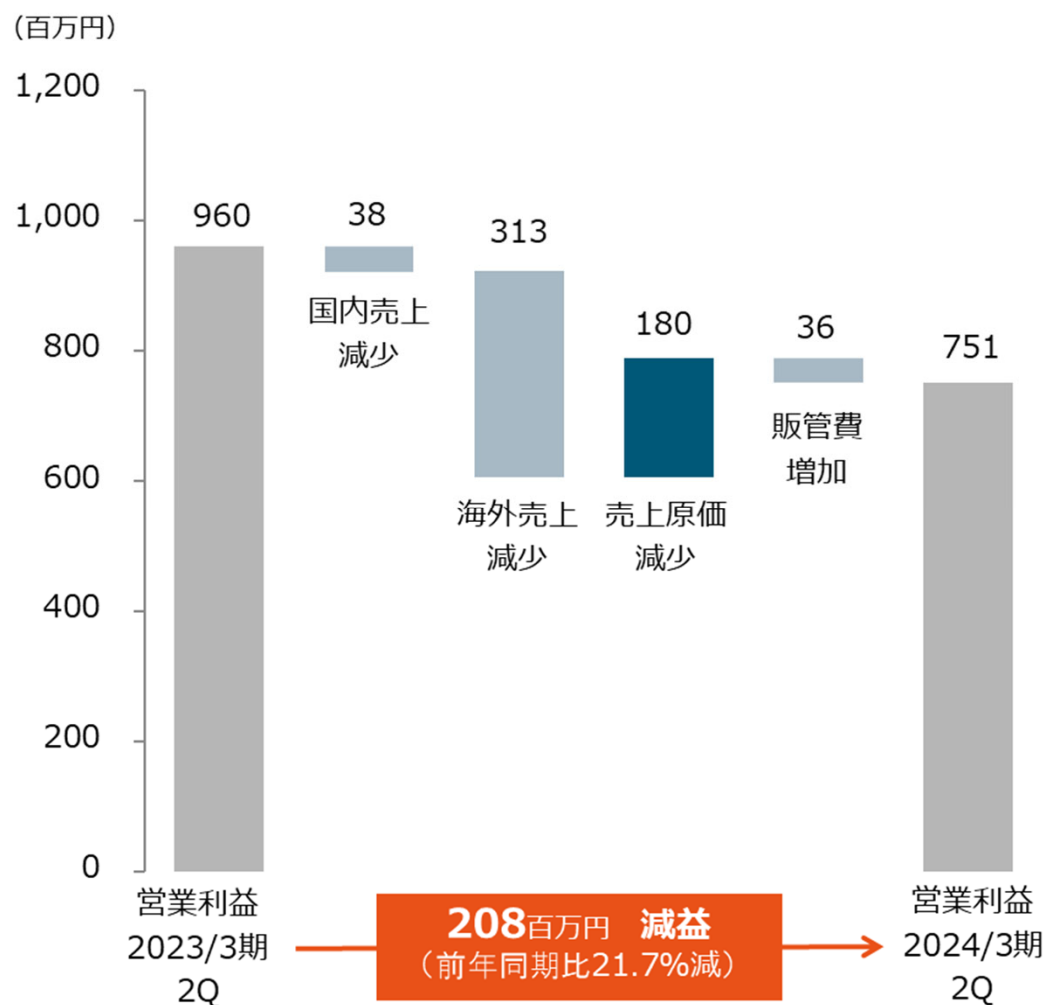
第2四半期決算（累計）の概要

前年同期に比べ減収・減益
通期予想を下方修正

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	2024年3月期 通期予想	進捗率
売上高	4,768	4,416	9,000	49.1%
前年同期比	-1.1%	-7.4%	-6.8%	
営業利益	960	751	1,600	47.0%
前年同期比	-13.8%	-21.7%	-24.1%	
経常利益	955	769	1,610	47.8%
前年同期比	-15.5%	-19.5%	-24.5%	
四半期純利益	620	507	1,100	46.1%
前年同期比	-19.6%	-18.2%	-25.4%	

- 自動車関連は半導体や部品不足の解消により生産の持ち直し気運が見られたものの、金型向けを中心とした工具需要の回復には至らず。半導体や電子部品・デバイス関連ではスマートフォンやPC関連等の需要減退が続き、全体的に低調に推移。この影響で中華圏向けが大きく落ち込んだ。
- 当四半期の連結売上高は4,416百万円と、前年同期比7.4%の減少となった。
- 連結経常利益は769百万円と同19.5%の減少。売上高経常利益率は17.4%と同2.6ポイント低下。
- 下期にかけても工具需要が低調に推移すると見込まれるため、10月に通期業績予想を修正。（P.14参照）

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比38百万円、1.2%減少、海外は同313百万円、19.7%減少した。売上高全体では同352百万円、7.4%の減少となった。
- 販売減少に伴い、生産量を絞ったことにより、材料費・外注費をはじめ製品製造原価が減少したため、売上原価は同180百万円、7.9%減少となった。なお、在庫の品揃え拡充のため、多品種適量生産を行った。
- 販管費は営業活動再開による出張費用や展示会費等の増加により販売費が同10.3%増加した。販管費全体では同36百万円、2.4%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同208百万円、21.7%減少し751百万円となり、売上高営業利益率は17.0%と同3.1ポイント低下した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
売上高	4,768	4,416	-7.4%
売上総利益 対売上高比率	2,483 52.1%	2,311 52.3%	-6.9%
販管費 対売上高比率	1,522 31.9%	1,559 35.3%	+2.4%
営業利益 対売上高比率	960 20.1%	751 17.0%	-21.7%
経常利益 対売上高比率	955 20.0%	769 17.4%	-19.5%
四半期純利益 対売上高比率	620 13.0%	507 11.5%	-18.2%
設備投資額	313	337	+7.6%
減価償却費	328	303	-7.7%
従業員数(人)	353	350	-0.8%

- 売上高は4,416百万円と前年同期比7.4%の減少。景況感は大きく改善せず、工具需要の動きが鈍い中、海外販売の不振が響き、減収となった。
- 売上総利益は2,311百万円と同6.9%減少した。売上原価は同7.9%減少しており、売上総利益率は52.3%と同0.2ポイント上昇した。
- 販管費は販売費の増加等に伴い、同2.4%増加し、売上高販管費比率は35.3%と同3.4ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同21.7%減少の751百万円、売上高営業利益率は17.0%と同3.1ポイント低下した。
- 設備投資額は、当期設備計画に従い、337百万円と同7.6%の増加。減価償却費は同7.7%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2023年 3月期末	構成比	2024年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	12,298	65.2%	11,974	64.4%	-2.6%
現金及び預金	8,497	45.1%	8,115	43.7%	-4.5%
受取手形及び売掛金	1,355	7.2%	1,319	7.1%	-2.7%
棚卸資産	2,320	12.3%	2,418	13.0%	+4.2%
II 固定資産	6,559	34.8%	6,611	35.6%	+0.8%
有形固定資産	5,412	28.7%	5,442	29.3%	+0.6%
無形固定資産	28	0.2%	25	0.1%	-9.1%
投資その他の資産	1,118	5.9%	1,143	6.2%	+2.2%
資産合計	18,857	100.0%	18,586	100.0%	-1.4%
(負債の部)					
I 流動負債	1,432	7.6%	1,074	5.8%	-25.0%
買掛金	303	1.6%	211	1.1%	-30.3%
II 固定負債	224	1.2%	224	1.2%	-
負債合計	1,657	8.8%	1,299	7.0%	-21.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	16,984	90.1%	17,082	91.9%	+0.6%
純資産合計	17,200	91.2%	17,286	93.0%	+0.5%
負債・純資産合計	18,857	100.0%	18,586	100.0%	-1.4%

流動資産

法人税や賞与の支払、自己株式の取得等により現金及び預金が減少したこと等から前期末比2.6%減少。

固定資産

有形固定資産及び投資その他の資産が微増によりほぼ横ばい。

負債

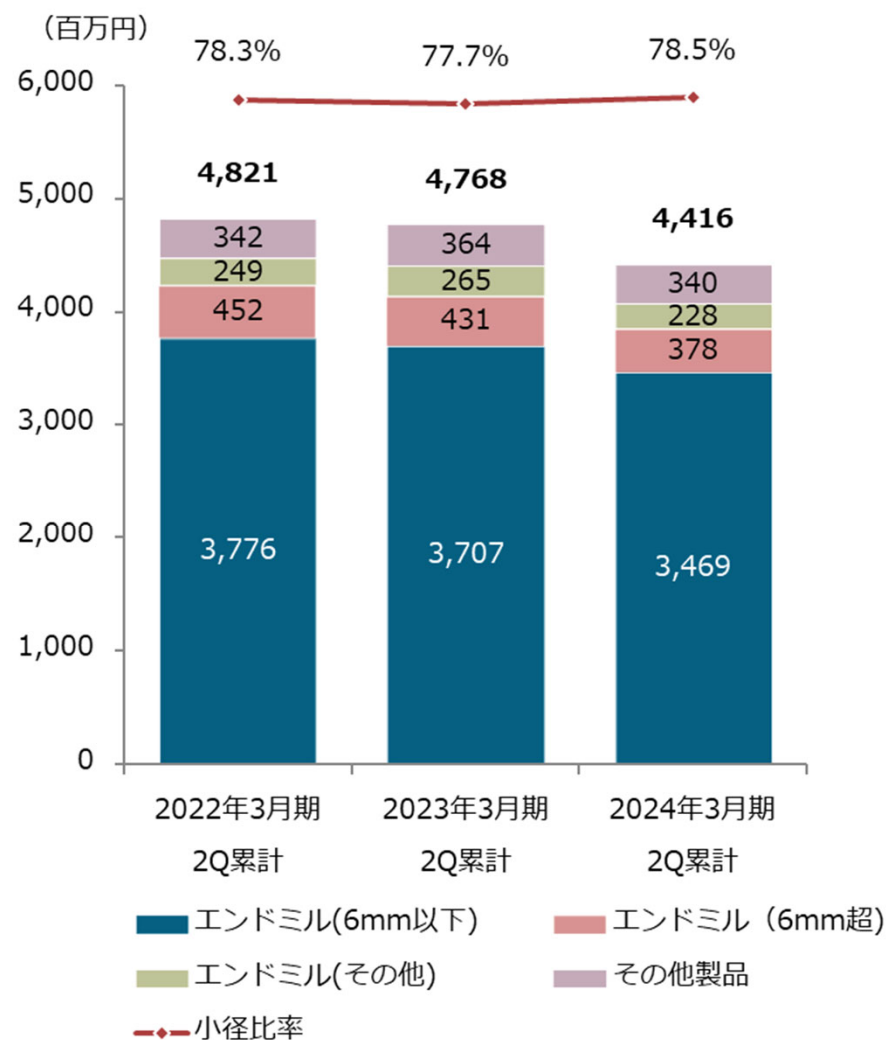
未払法人税等や賞与引当金、役員賞与引当金の減少等により、同21.6%減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同0.6%増加。負債の減少もあり自己資本比率は91.9%と同1.8ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

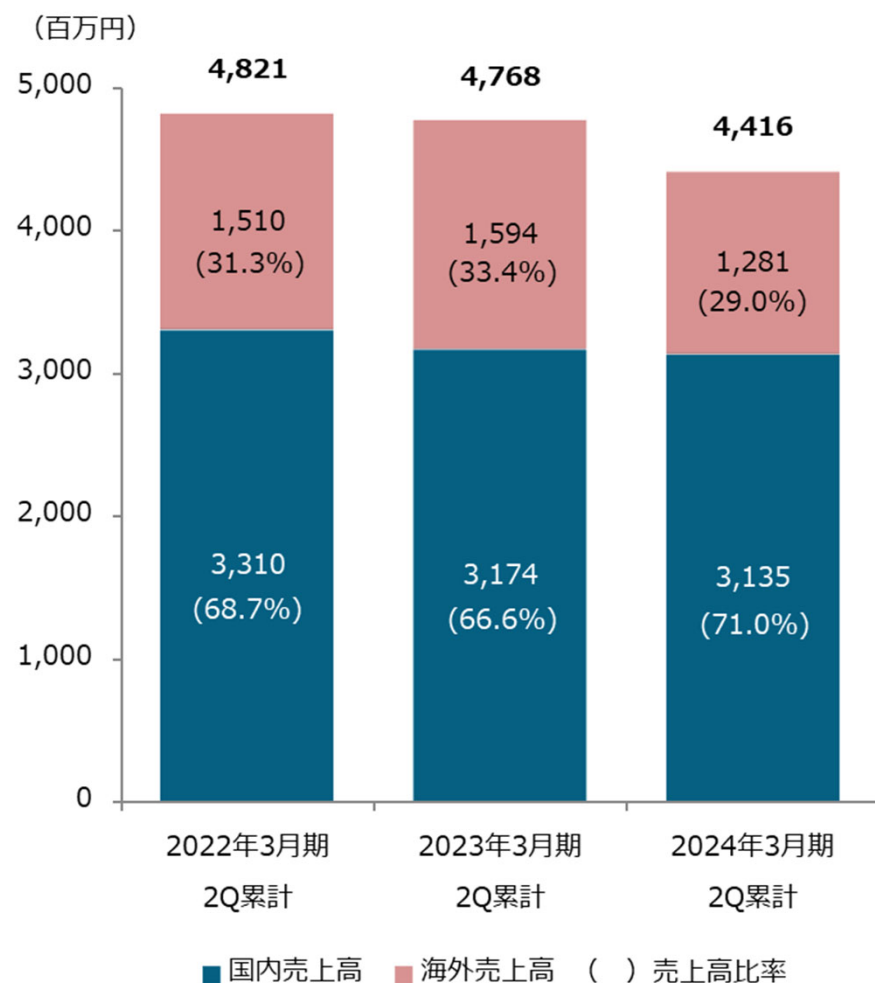
製品別売上高と小径比率の推移



- 自動車関連は半導体や部品不足の解消に伴い、生産が回復基調となったが、EVシフト等業界を取り巻く環境変化等もあり、金型向けを中心とした工具需要は低調に推移した。半導体や電子・デバイス関連はスマートフォンやPC関連等の需要減退が続き、全体的に鈍い動きとなった。連結売上高は4,416百万円と前年同期比7.4%減少した。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が同6.4%の減少、エンドミル（6mm超）も同12.2%減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同13.8%減少し、工具ケース等のその他製品は同6.8%減少した。小径比率は78.5%と同0.8ポイント上昇した。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

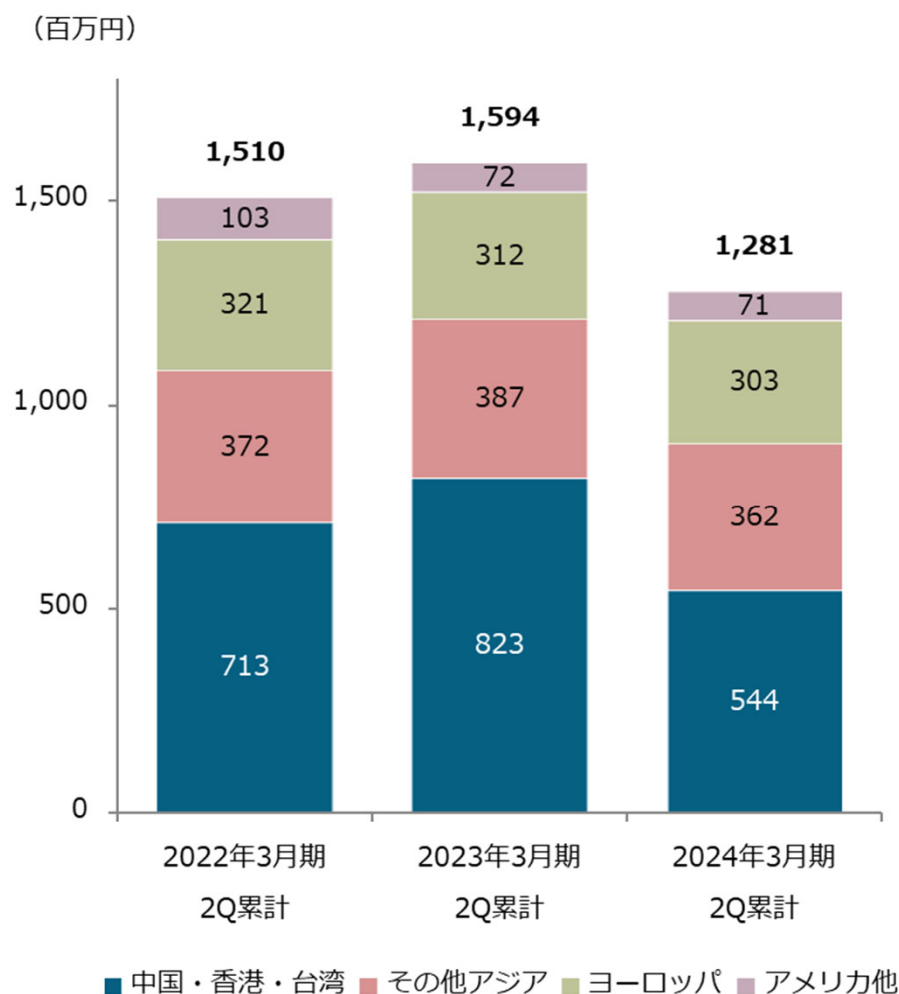
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比38百万円、1.2%減少し3,135百万円となった。海外売上高は同313百万円、19.7%減少し1,281百万円であった。
- 海外売上高は、全世界での景況感の悪化による影響を受け、特に中華圏で大きな落ち込みとなった。
- 海外売上高比率は前年同期比4.4ポイント低下し29.0%。第1四半期に続き30%を下回った。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

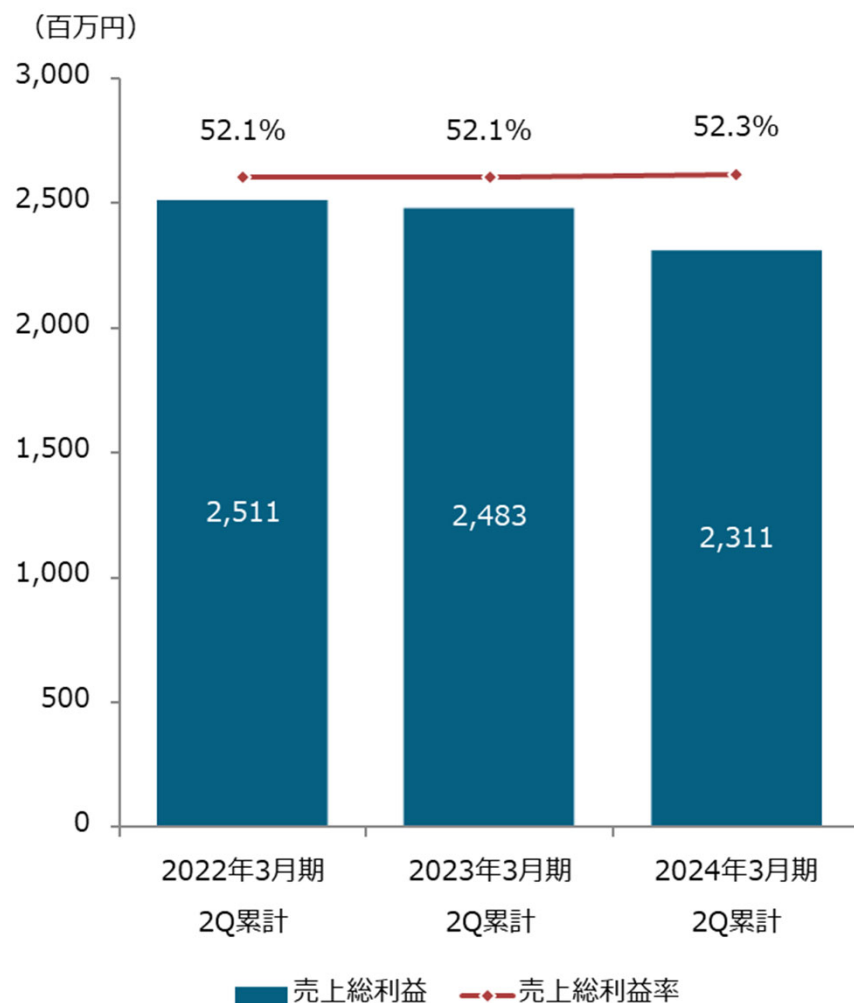
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は中国経済の減速により市況が悪化、前年同期比33.9%減少の544百万円。中国はスマートフォン関連の需要が減少したほか、外資系企業の他国への生産移管が見られた。台湾は半導体・光学関連ともに低調となった。なお、日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-6月分。
- その他アジアは前年同期比6.3%減少の362百万円。東南アジアでは自動車向け金型関連が低調に推移。
- ヨーロッパは同2.8%減少の303百万円。インフレやエネルギー価格の高騰が継続し、製造業全体で景気後退感が強まっている。
- アメリカ他は同1.0%減少の71百万円。現地取引を日進工具からNS TOOL USA経由に変更中。

業績推移（売上総利益の推移）

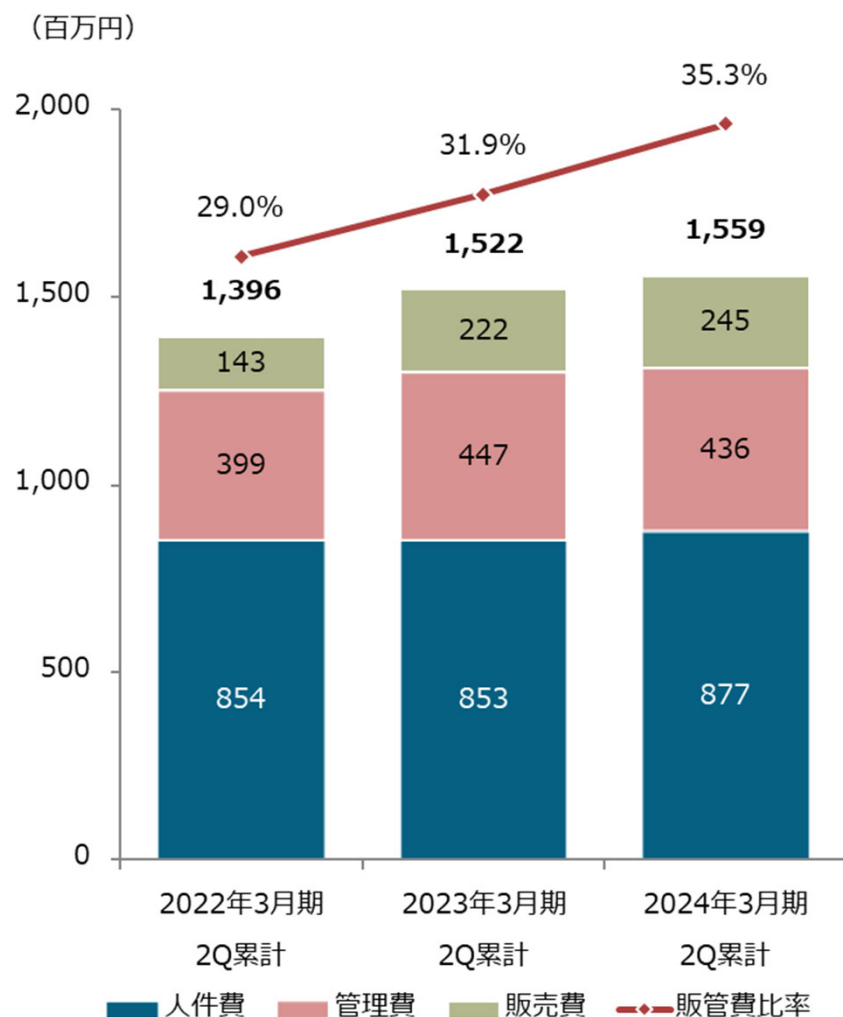
売上総利益と売上総利益率の推移



- 販売減少に伴い生産量を絞ったこと、及び原価低減の継続的な取り組みにより、材料費は前年同期比9.3%減少、外注加工費は同12.5%減少、労務費は同3.6%減少した。製造経費も全体的に減少し、当期製品製造原価は前年同期を下回った。なお、在庫製品の品揃え拡充を目的とした多品種適量の生産を実施した。
- 当期製品製造原価が減少したことにより売上原価は同7.9%減少した。
- 売上高減少により売上総利益は2,311百万円、同6.9%減少したものの、売上原価の減少や2022年11月受注分からの値上げも寄与し売上総利益率は52.3%と同0.2ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

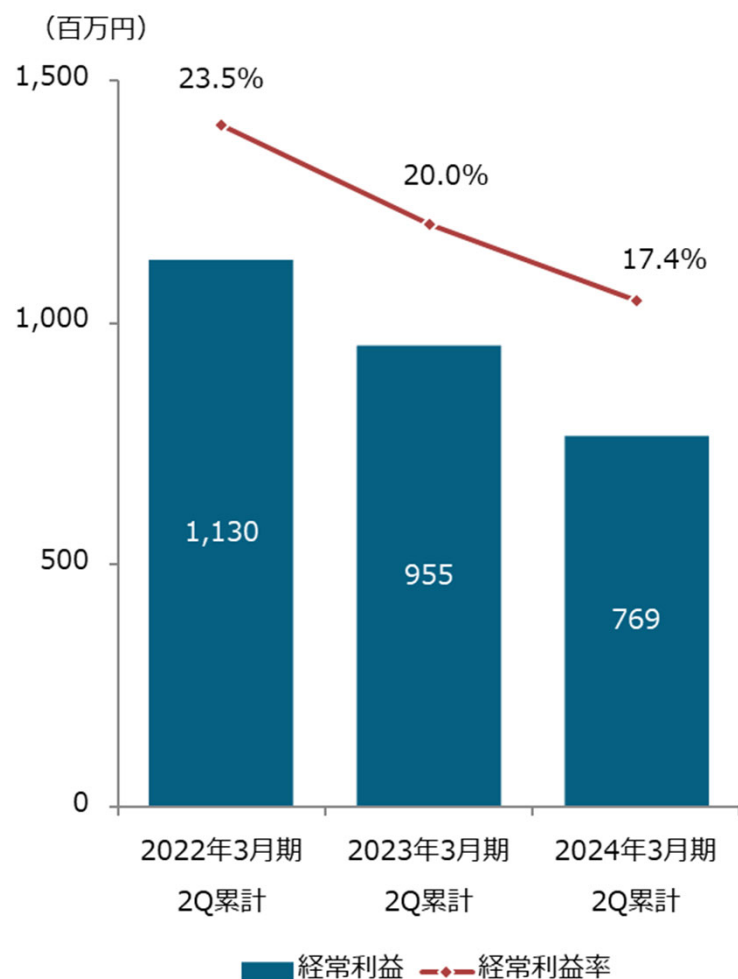
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、営業活動再開により国内外の出張旅費が増加したことに加え、国内での「INTERMOLD」やドイツで開催された「EMO」等様々な展示会への参加により展示会費等が増加したこともあり、前年同期比10.3%増加の245百万円。
- 人件費は、賃上げによる従業員給与の増加等から同2.9%増加の877百万円。
- 販管費全体では同2.4%増加の1,559百万円となり、売上高販管費比率は35.3%と同3.4ポイント上昇した。

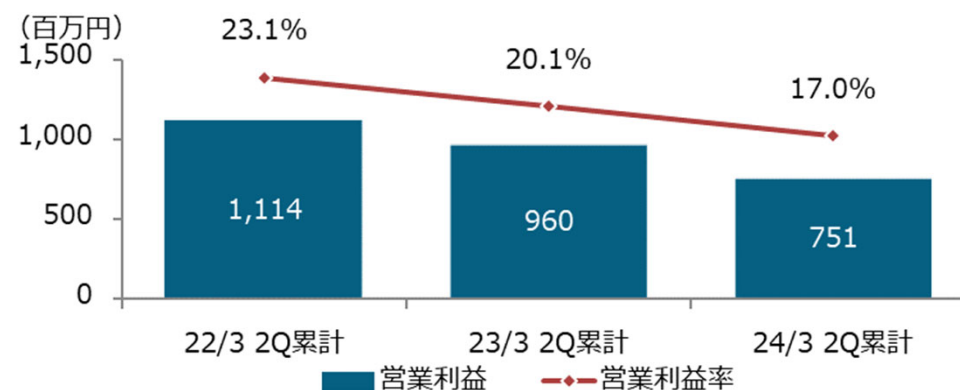
業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は売上高の減少と販管費の増加等により前年同期比21.7%減少し、751百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益等により営業外収益が営業外費用を17百万円上回った。経常利益は769百万円、前年同期比19.5%の減少。
- 売上高経常利益率は17.4%と前年同期の水準を2.6ポイント下回った。

(参考) 営業利益と売上高営業利益率の推移



2024年3月期の業績予想



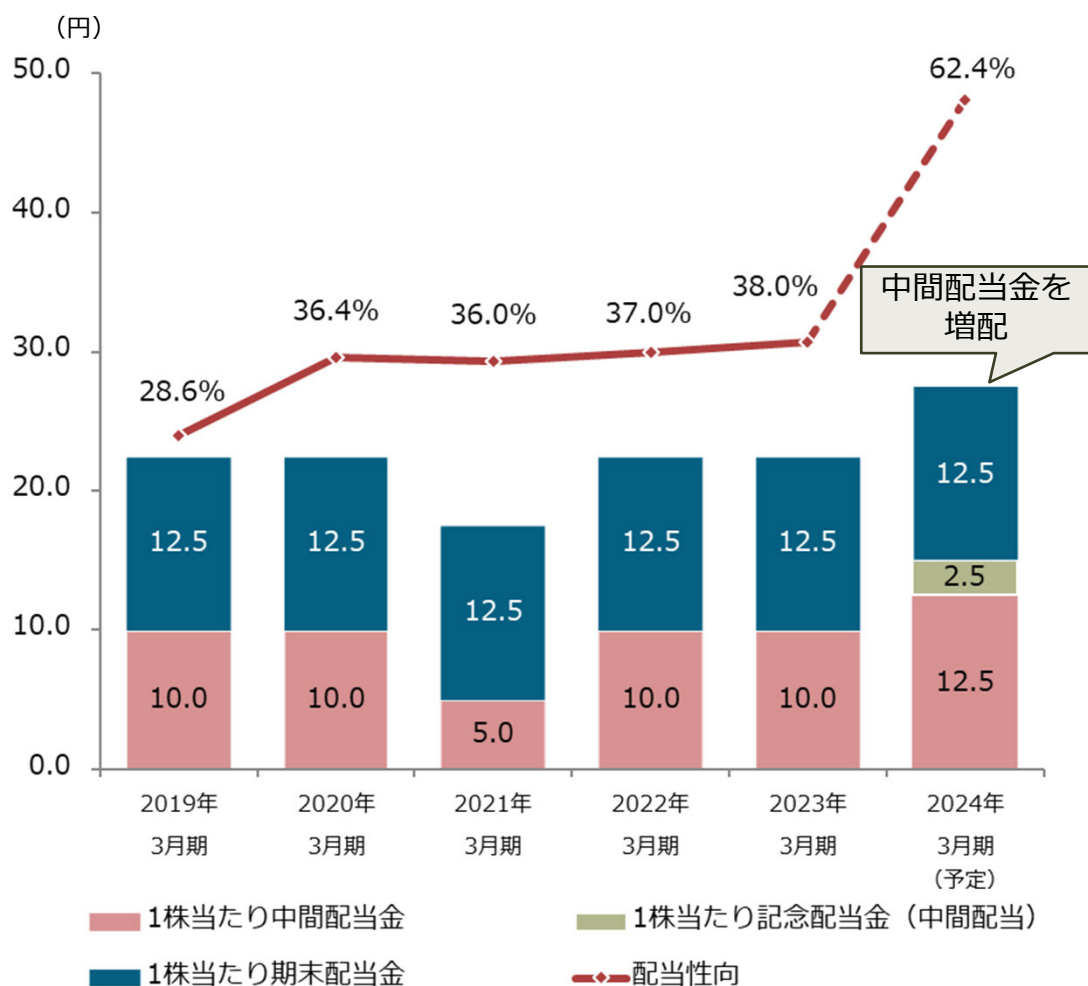
業績予想

(単位：百万円)	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	前期比 増減率	期初 通期予想
売上高	9,656	9,000	-6.8%	9,870
営業利益	2,108	1,600	-24.1%	1,820
経常利益	2,131	1,610	-24.5%	1,830
当期純利益	1,475	1,100	-25.4%	1,220
設備投資額	686	1,037	+51.1%	1,037
減価償却費	669	654	-2.3%	714
EPS (円)	59.16	44.08	-25.5%	48.88
1株当たり配当金 (円)	22.50	27.50	+22.2%	25.00

- 下期においてもインフレや金融引き締め政策等により、世界的な景気低迷、特に中国の市況回復の遅れが懸念されることから、引き続き工具需要が低迷すると見込まれる。したがって、通期業績の下方修正を実施。
- 修正後の売上高は前期比6.8%減の9,000百万円、営業利益は同24.1%減の1,600百万円、経常利益は同24.5%減の1,610百万円を予想。
- 減収に加え、賃上げに伴う人件費上昇、営業活動再開による販売費の増加により、営業利益、経常利益ともに減益となる見込み。
- 設備投資は、期初予想より変更なし。前期からの設備計画のずれ込みもあり前期比51.1%増の見込み。
- 1株当たり配当金は、記念配当2.5円を加えた中間配当金15.0円、期末配当金12.5円の27.5円と増配予定。

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2023年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円。
中間配当金10円、期末配当金12.5円
業績に対する配当性向は38.0%
- 2024年3月期の1株当たり年間配当金は27.5円と増配予定
創業70周年目を迎えるにあたり2.5円の記念配当を実施
中間配当金15.0円（普通配当12.5円、記念配当2.5円）
期末配当金12.5円
業績予想に対する配当性向は62.4%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

參考資料

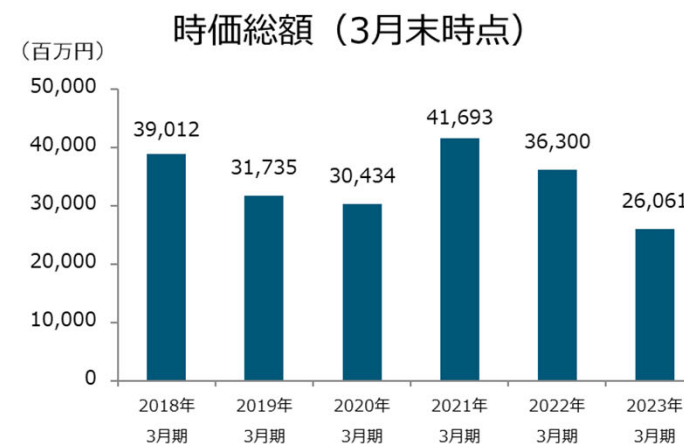
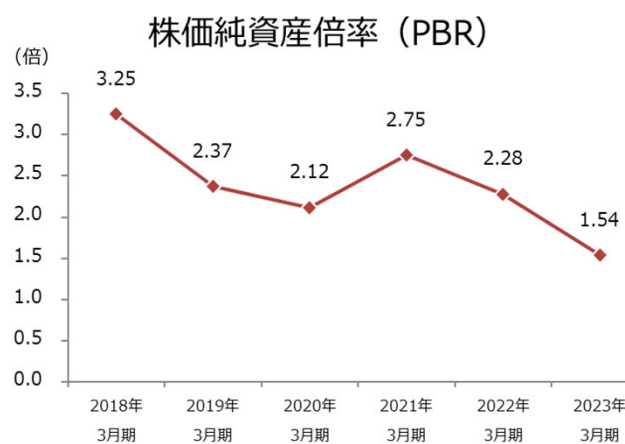
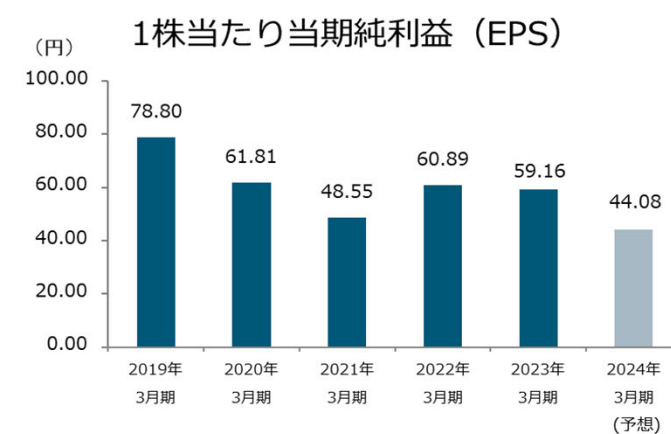
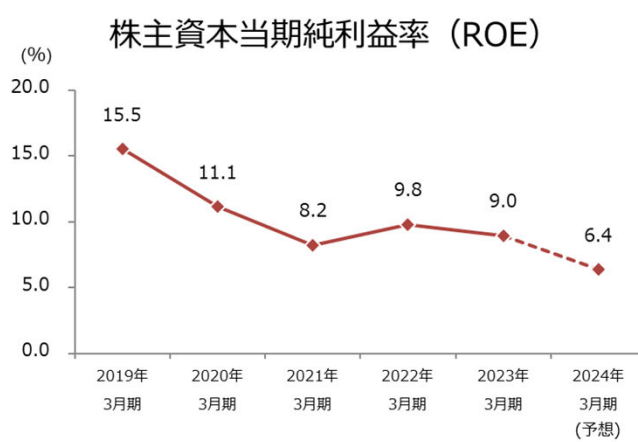
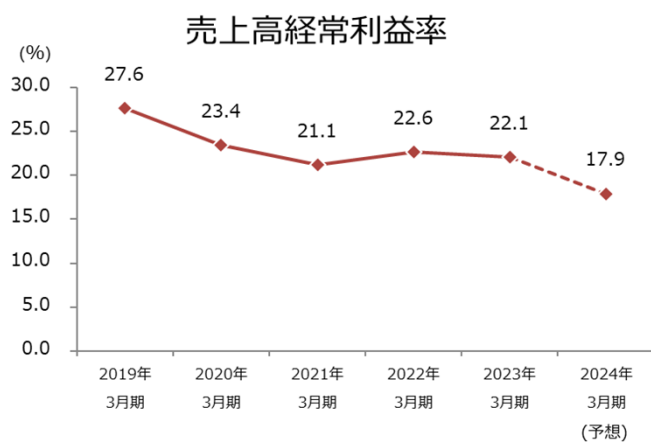


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績
売上高	10,476	9,531	8,100	9,524	9,656
営業利益	2,879	2,219	1,512	2,111	2,108
営業利益率	27.5%	23.3%	18.7%	22.2%	21.8%
経常利益	2,894	2,231	1,712	2,156	2,131
経常利益率	27.6%	23.4%	21.1%	22.6%	22.1%
当期純利益	1,970	1,545	1,214	1,522	1,475
当期純利益率	18.8%	16.2%	15.0%	16.0%	15.3%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	13,461	14,498	15,326	16,165	17,200
総資産額	15,381	16,017	16,936	17,874	18,857
自己資本比率	87.1%	89.7%	89.4%	89.2%	90.1%
設備投資額	1,268	1,755	462	659	686
減価償却費	629	698	707	692	669
1株当たり配当金 (円)	22.50	22.50	17.50	22.50	22.50
従業員数 (人)	343	338	339	348	352

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

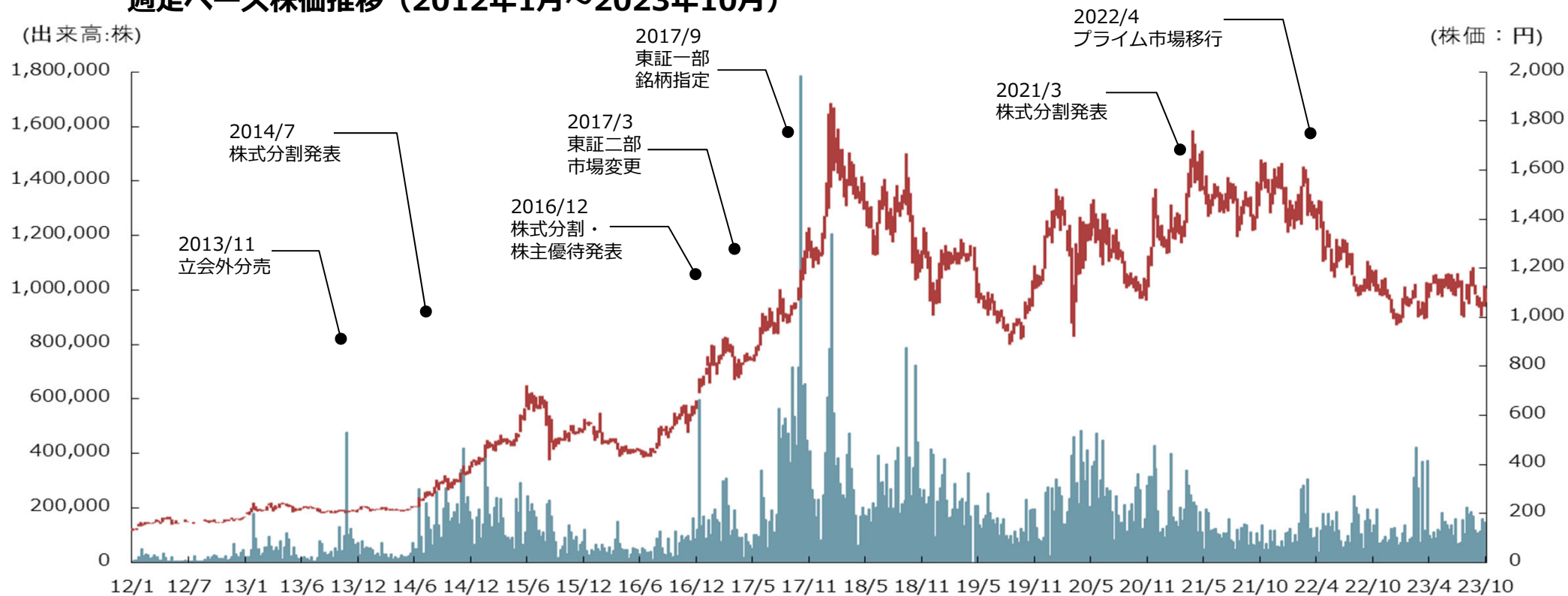
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2023年10月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2023年10月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	273億円
ROE (23/3期実績)	9.0%

単元株価格	10万9,300円
PER (24/3期予想)	24.80倍
PBR (23/3期実績)	1.61倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報'. The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報', with the stock code 'プライム市場 コード: 6157'. The page is divided into two main sections: 'IRトピックス' (IR Topics) and 'IRニュース' (IR News). The 'IRトピックス' section lists recent reports, such as the 'SRアナリストレポート (2024年3月期第1四半期) [HTML]' and 'Business Report for the Fiscal Year Ended March 31, 2023(English)[PDF]'. The 'IRニュース' section lists news items, such as '主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ[PDF]' and '弊社社長の後継が日経CNBC「トップに聞く」に出演しました[PDF]'. On the right side, there is a sidebar menu titled 'IR情報' with various sub-items like 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '事業戦略', '業績・財務情報', 'IRライブラリー', 'イベント', '株式情報', 'よくあるご質問', 'IRサイトの使い方', 'IR情報サイトマップ', and 'IRニュースメール登録'.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。